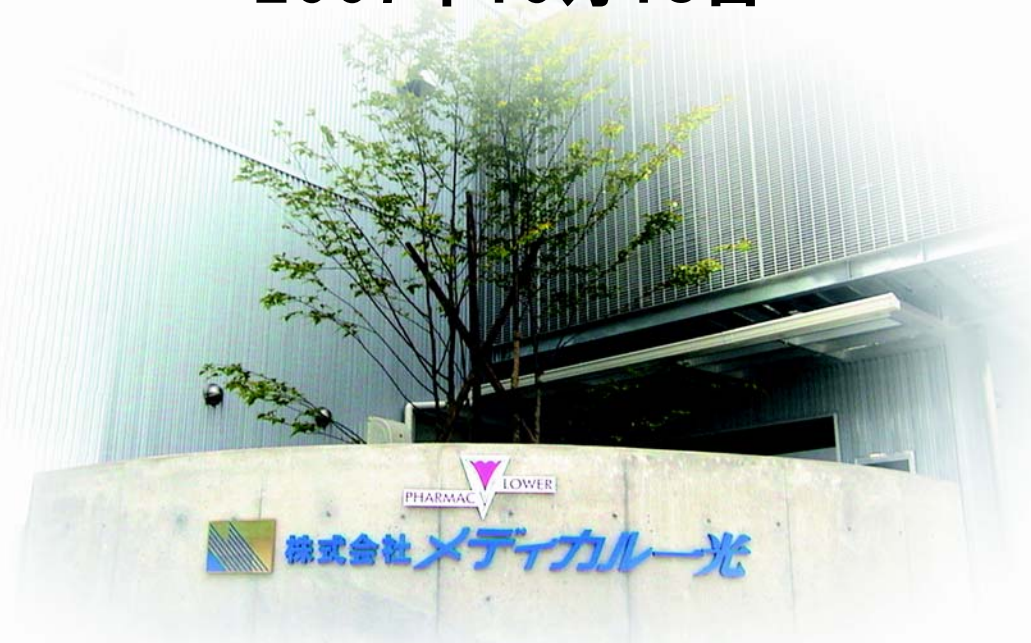


株式会社メディカルー光

2008年2月期 中間決算説明会

2007年10月18日



代表取締役社長 南野 利久

JASDAQ

(証券コード：3353)

I. 2008年2月期 中間決算概要

II. 中期経営計画

III. 2008年2月期 中間決算業績詳細

■ 2008年2月期 中間決算(連結PL)

(単位:百万円)

	2007年2月中間		2008年2月中間					
		構成比		構成比	前期比		計画比	
売上高	5,926	100.0%	7,003	100.0%	+1,077	18.1%	+319	4.7%
売上原価	5,399	91.1%	6,322	90.3%	+923	17.0%	+245	4.0%
売上総利益	527	8.9%	680	9.7%	+153	29.0%	+74	12.2%
販管費	338	5.7%	394	5.6%	+56	16.5%	+22	5.9%
営業利益	188	3.2%	286	4.1%	+98	52.1%	+53	22.7%
経常利益	150	2.5%	234	3.4%	+84	55.8%	+56	31.5%
当期利益	△11	-	110	1.6%	+121	-	+29	35.8%

- 調剤薬局 2店舗(新店1店舗、M&A1店舗)増加
- 売上原価0.8ポイント低下(前期比)

■ 2008年2月期 中間決算(連結BS)

(単位:百万円)

	07年2月期		08年2月期中間		増減額	増加率
		構成比		構成比		
流動資産	3,215	38.4%	3,976	39.8%	+761	23.6%
現預金	1,119	13.4%	1,467	14.7%	+348	31.0%
売掛金	1,428	17.0%	1,762	17.6%	+334	23.3%
その他	668	8.0%	747	7.5%	+79	11.8%
固定資産	5,165	61.6%	6,012	60.2%	+874	16.3%
有形固定資産	3,746	44.7%	3,914	39.2%	+168	4.4%
無形固定資産	620	7.4%	1,177	11.8%	+557	89.8%
その他	799	9.5%	921	9.2%	+122	15.2%
資産合計	8,380	100.0%	9,988	100.0%	+1,608	19.1%
負債合計	6,287	75.0%	7,453	74.6%	+1,166	18.5%
流動負債	3,362	40.1%	4,158	41.6%	+796	23.6%
固定負債	2,924	34.9%	3,295	33.0%	+371	12.6%
純資産合計	2,093	25.0%	2,535	25.4%	+442	21.1%
負債・純資産合計	8,380	100.0%	9,988	100.0%	+1,608	19.1%

■ 2008年2月期 中間決算

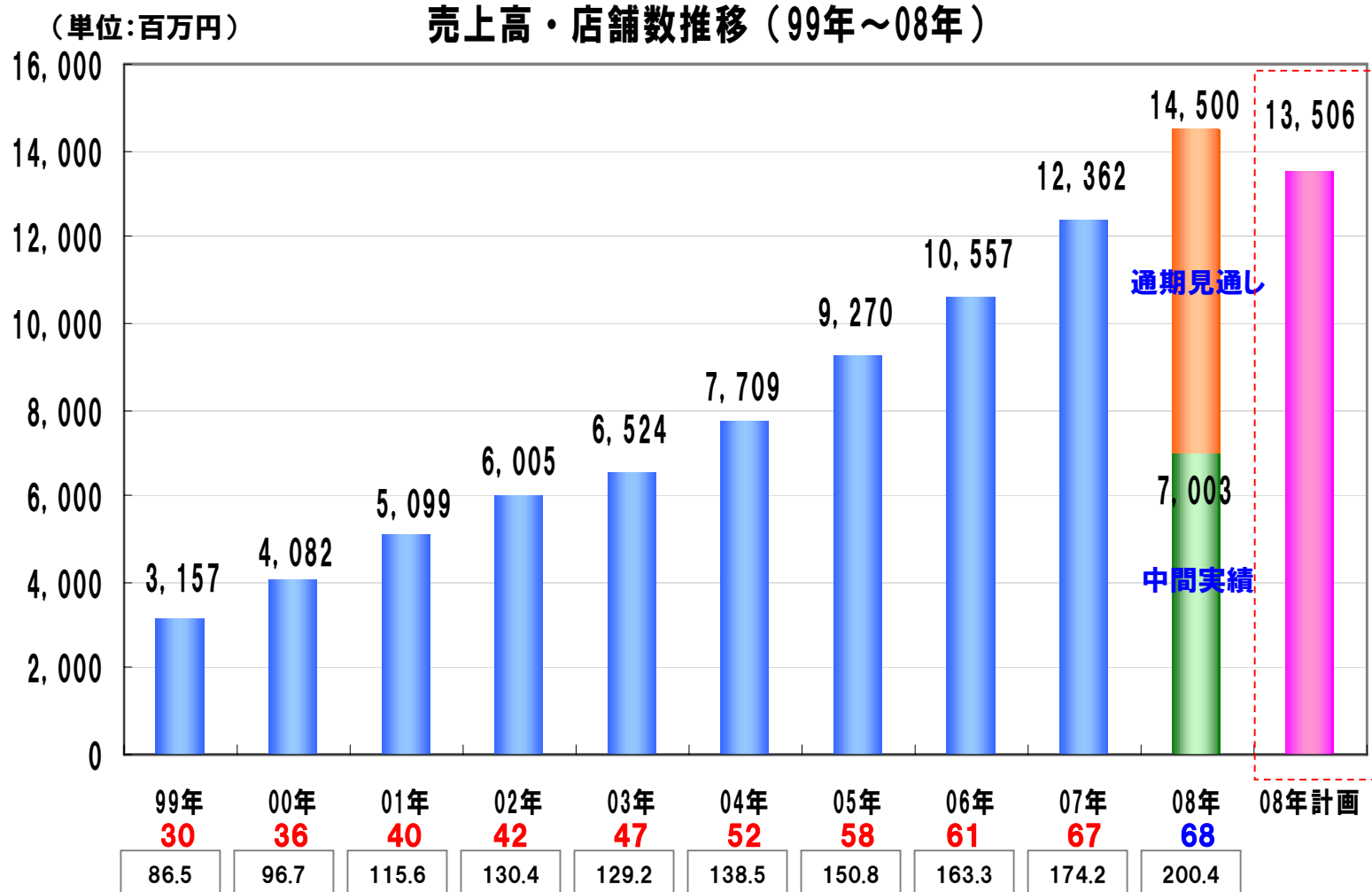
◆ セグメント別実績（売上高）

（単位：百万円）

	2008年2月期			前期比		計画比	
	上期実績	下期計画	通期計画				
調剤薬局事業	6,539	7,089	13,628	+1,950	16.6%	+1,146	9.1%
医薬品卸事業	280	291	571	+44	8.3%	+4	0.6%
不動産事業	99	101	200	+44	28.2%	±0	-
介護事業	84	111	195	+195	-	-62	-
合計	7,003	7,591	14,594	2,233	18.0%	+1,088	8.0%

	2008年2月期					
	上期実績		下期計画		通期計画	
調剤	6,539	93.4%	7,089	93.4%	13,628	93.4%
非調剤	463	6.6%	503	6.6%	966	6.6%
合計	7,003	100.0%	7,591	100.0%	14,594	100.0%

■ 売上高・店舗数の推移

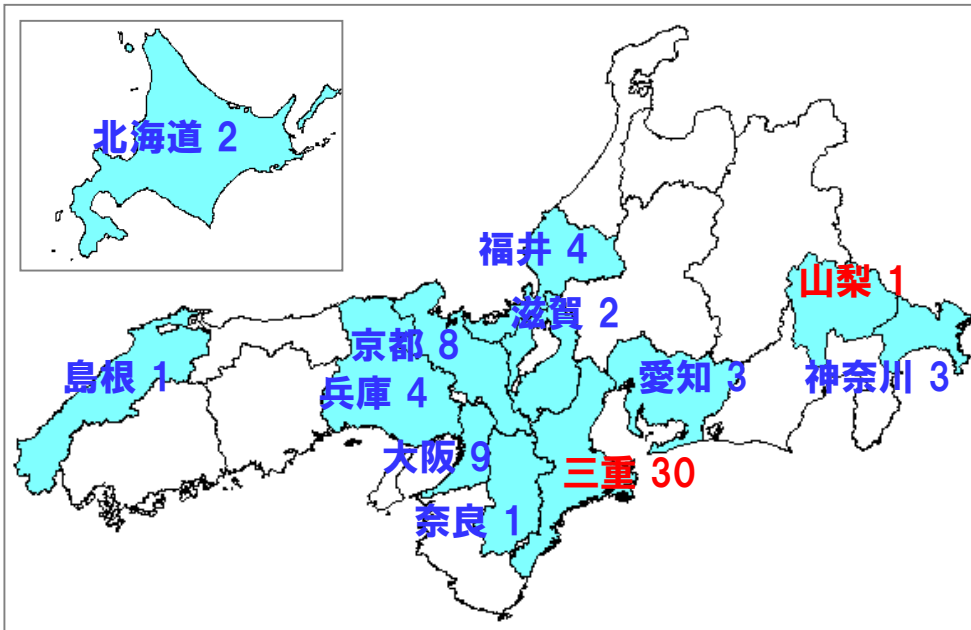


※赤字=期末店舗数 青字=2007年8月末現在店舗数(グループ全体)

調剤薬局1店舗当たりの年間売上(百万円)

■ 調剤薬局 出退店状況

◆ 1道2府8県に68店舗展開



【新店】4月
 フラワー薬局 寿店(三重県桑名市)

【M&A】7月
 山梨薬剤センター(山梨県山梨市)

【閉局】3月
 あじさい薬局(奈良県橿原市)

	07年2月末 店舗数	期中開局		期中閉局	08年2月期中間 店舗数
		出店	M&A		
病院	38	1	1	0	40
診療所	29	0	0	-1	28
合計	67	1	1	-1	68

■ M&A

◆ 昨年5月に続く関東圏進出

- 平成19年7月19日 譲渡契約締結
- 平成19年7月25日 譲受日



商号: 株式会社山梨薬剤センター
 所在地: 山梨県山梨市万力110番地
 従業員数: 26名

(単位: 百万円)

	08年2月期		09年2月期
	中間実績	通期計画	通期計画
売上高	115	774	1,300

■ M & Aの効果

(単位:百万円)

	2008年2月期中間				2008年2月期通期(計画)			
	既存店	M & A	合計	M & A 比率	既存店	M & A	合計	M & A 比率
売上高	5,904 (100.0%)	635 (100.0%)	6,539 (100.0%)	9.7%	11,854 (100.0%)	1,774 (100.0%)	13,628 (100.0%)	13.0%
売上原価	5,456 (92.4%)	528 (83.1%)	5,984 (91.5%)	8.8%	10,997 (92.7%)	1,537 (86.6%)	12,534 (91.9%)	12.2%
売上総利益	446 (7.5%)	106 (16.6%)	553 (8.4%)	19.1%	856 (7.2%)	237 (13.3%)	1,093 (8.0%)	21.6%
営業利益	446 (7.5%)	96 (15.1%)	542 (8.2%)	17.7%	856 (7.2%)	216 (12.1%)	1,072 (7.8%)	20.1%
経常利益	429 (7.2%)	97 (15.2%)	526 (8.0%)	18.4%	821 (6.9%)	212 (11.9%)	1,033 (7.5%)	20.5%

※数値は調剤薬局事業のみ(本社経費除く)

※平安薬局(株)、(有)メデコアは2006年5月から連結計上

※(株)山梨薬剤センターは2007年8月から連結計上

■ M&Aの効果

売上高 上位10店

(単位:千円)

順位	薬局名	2005年8月	薬局名	2007年8月
1	A薬局	54,412	山梨薬剤センター	115,393
2	B薬局	42,721	平安薬局	61,983
3	C薬局	42,067	A薬局	58,608
4	D薬局	39,554	フラワー薬局枚方店	56,836
5	E薬局	27,175	C薬局	52,316
6	F薬局	23,870	D薬局	42,597
7	G薬局	23,174	B薬局	42,595
8	H薬局	22,952	K薬局	35,366
9	I薬局	21,724	L薬局	33,478
10	J薬局	21,287	E薬局	30,736
	上位10店合計	318,936	上位10店合計	529,908
	全店舗合計(59) (上位10店 売上比率)	845,819 (37.7%)	全店舗合計(68) (上位10店 売上比率)	1,203,611 (44.0%)

■ 2008年2月期中間トピックス

3月	介護付有料老人ホーム「鳳光苑」（島根県簸川郡）運営開始
4月	フラワー薬局寿店 開局（三重県桑名市）
5月	ハウス食品株式会社、イオン株式会社に第三者割当増資
6月	高齢者向け優良賃貸住宅「出雲鳳光苑」（島根県出雲市）運営開始 H I S A I メディカルモール（三重県津市）開業
7月	株式会社山梨薬剤センター（山梨県山梨市）を子会社化 （調剤薬局店舗数 68店舗（グループ合計））

■ 第三者割当増資の実施

◆ ハウス食品(株)・イオン(株)に新株式発行(1,200株)

 **ハウス食品**

高齢者向け事業に関して
相互に研究・検討を行う
(900株発行)

 **AEON**

今回の増資で2,250株
から2,550株に増加
(300株発行)

発行済株式総数

8,975株



10,175株

(平成19年5月10日現在)

■ 高齢者住宅の運営



【鳳光苑】（介護付有料老人ホーム）

運営開始日:3月1日～

所在地:島根県簸川郡

居室数:43室

入居率:95%(計画93%)



【出雲鳳光苑】（高齢者向け優良賃貸住宅）

運営開始日:6月1日～

所在地:島根県出雲市

居室数:30室

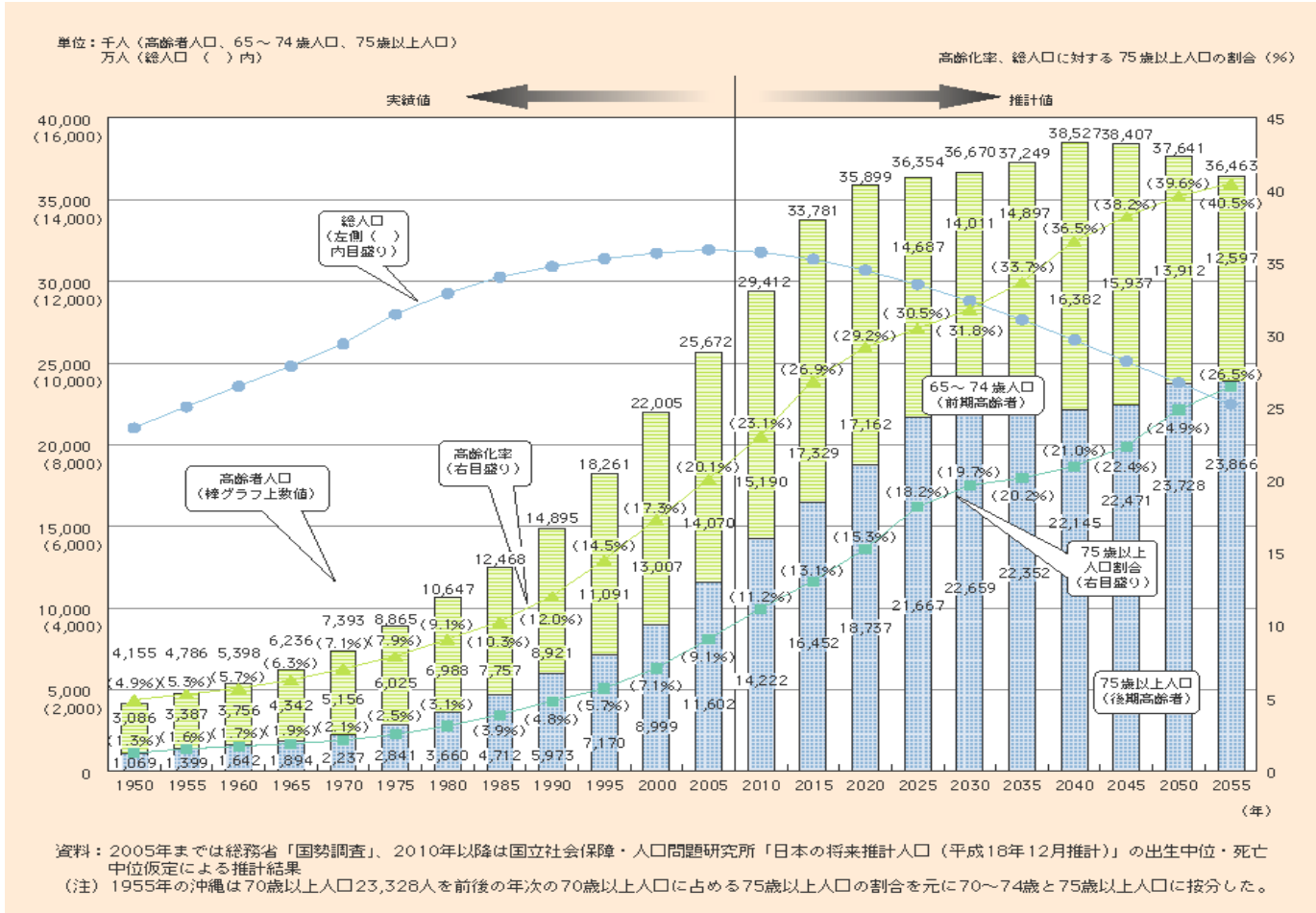
入居率:66%(計画60%)

■ **出雲鳳光苑**(6月1日運営開始)



■ 高齢化の進展

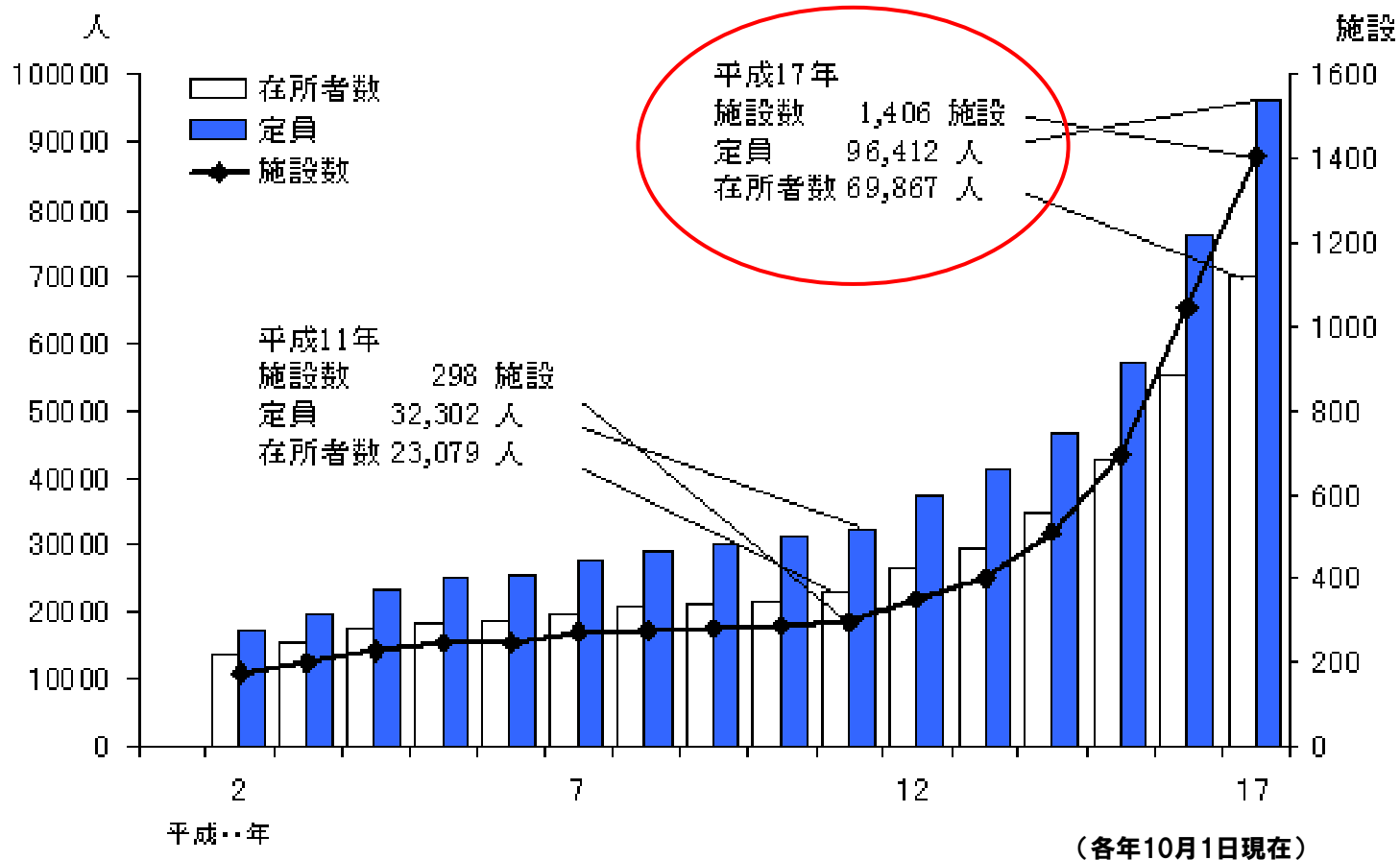
◆ 2015年には4人に1人、2025年には3人に1人が高齢者



(出所:内閣府 平成19年版 高齢社会白書)

■ 高齢化の進展

◆ 有料老人ホームの施設数・定員・在在者数の年次推移

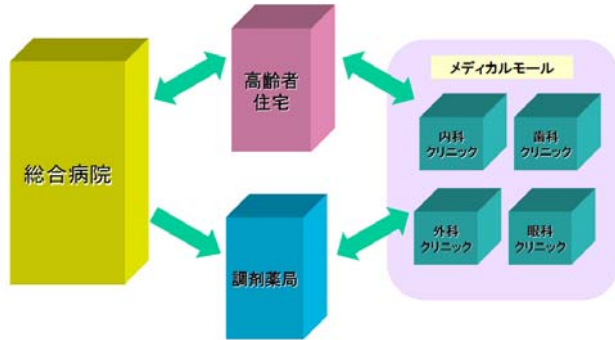


(出所:厚生労働省 平成17年社会福祉施設等調査結果の概要)

■ 介護事業の推進

◆ 3 施設目となる有料老人ホームを開設準備

【医療・介護事業のビジネスモデル】



■ HISAIメディカルモール

◆ HISAIメディカルモールの開業



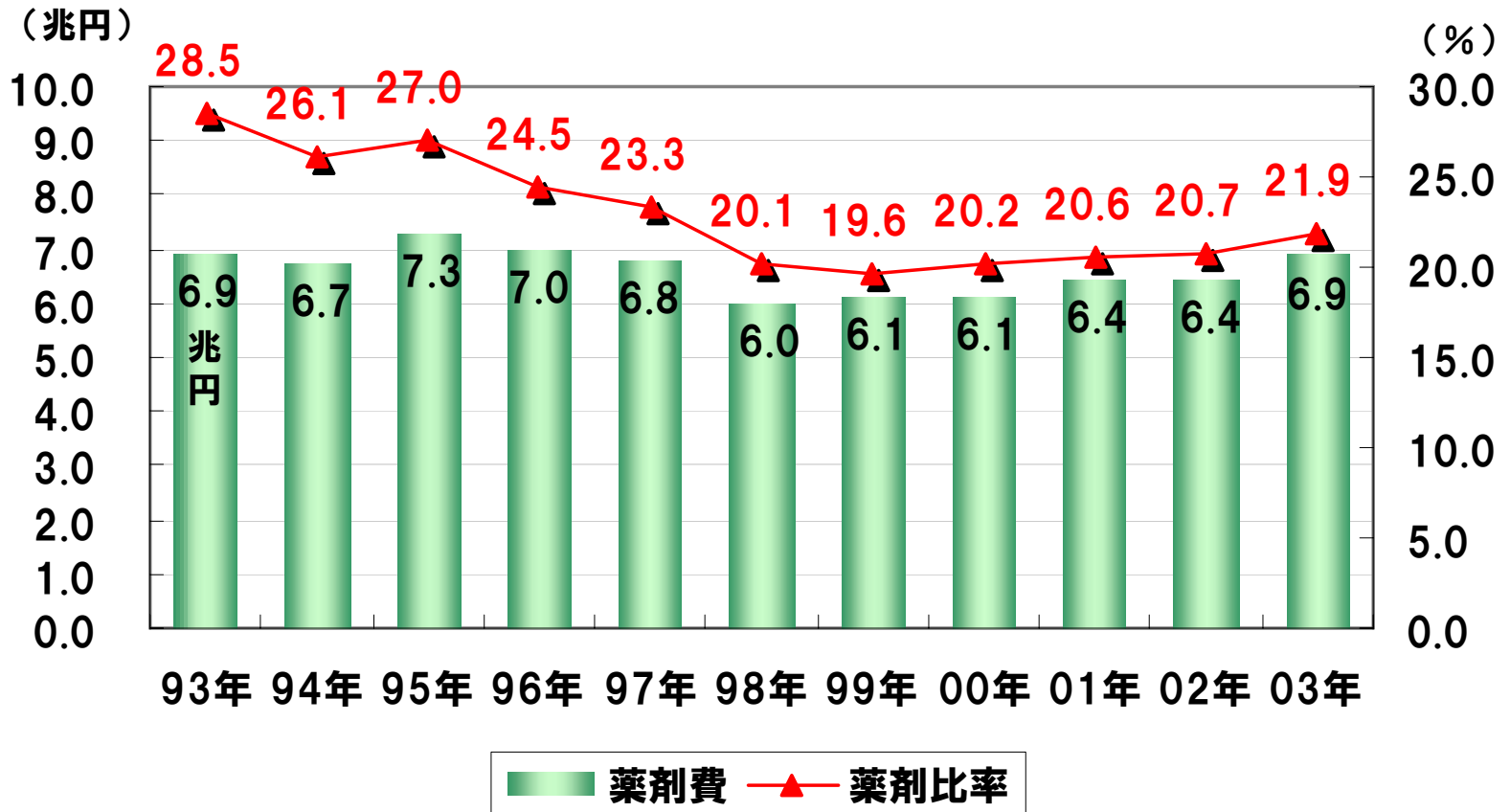
名 称:はなぶさクリニック
 診療科:胃腸科、乳腺科
 開 院:2006年11月6日

名 称:澤田眼科
 診療科:眼科
 開 院:2007年6月5日

名 称:素心庵クリニック
 診療科:心療内科
 開 院:2007年5月7日

川上 → 川中 → 川下

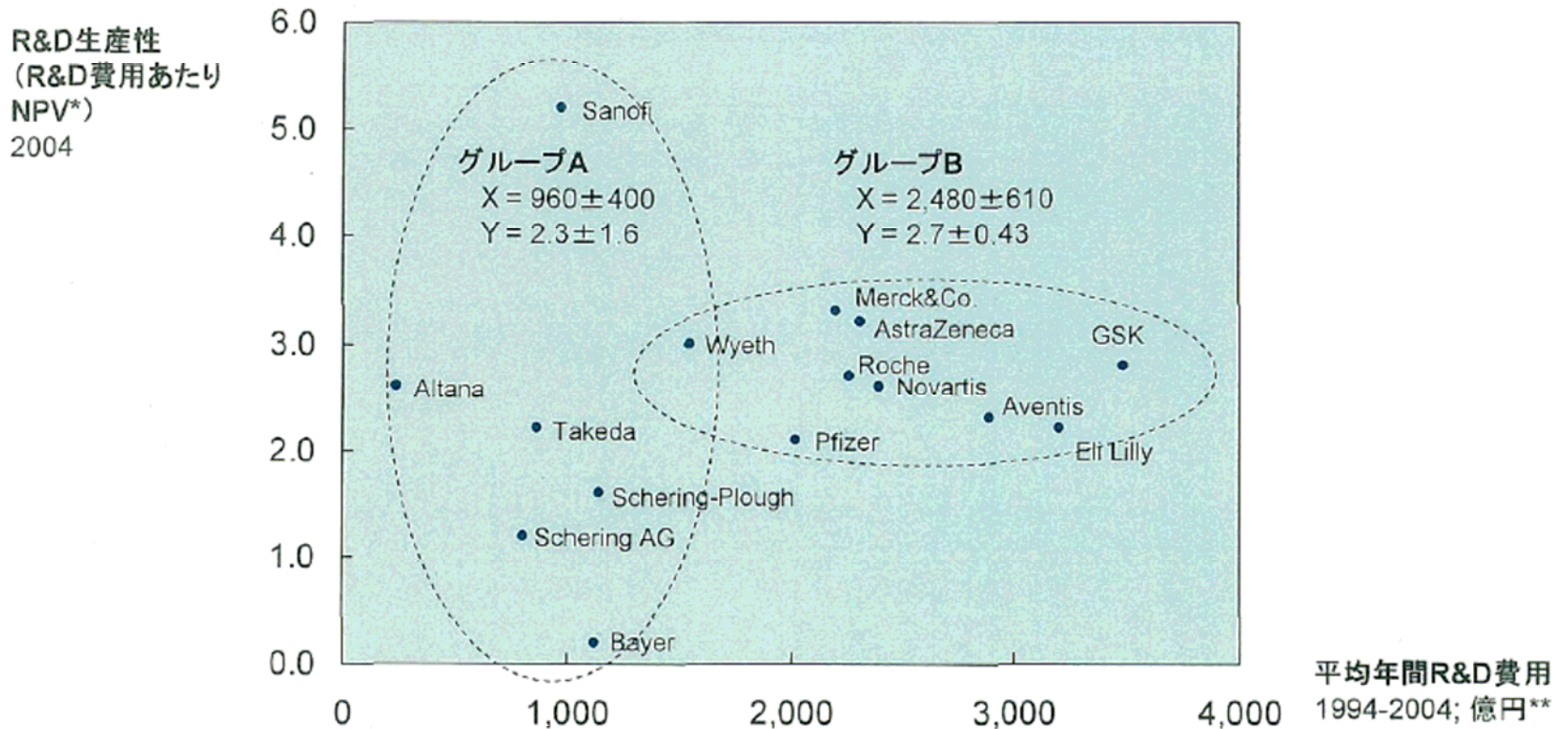
■ 薬剤給付の現状



(出所:厚生労働省)

■ 製薬企業の創薬R&D投資

- 低R&D投資の企業群(グループA)は、業績に極端なばらつきが生じている
- 安定した創薬生産性の企業群(グループB)は、平均約2,500億円の年間R&D規模を維持してきている

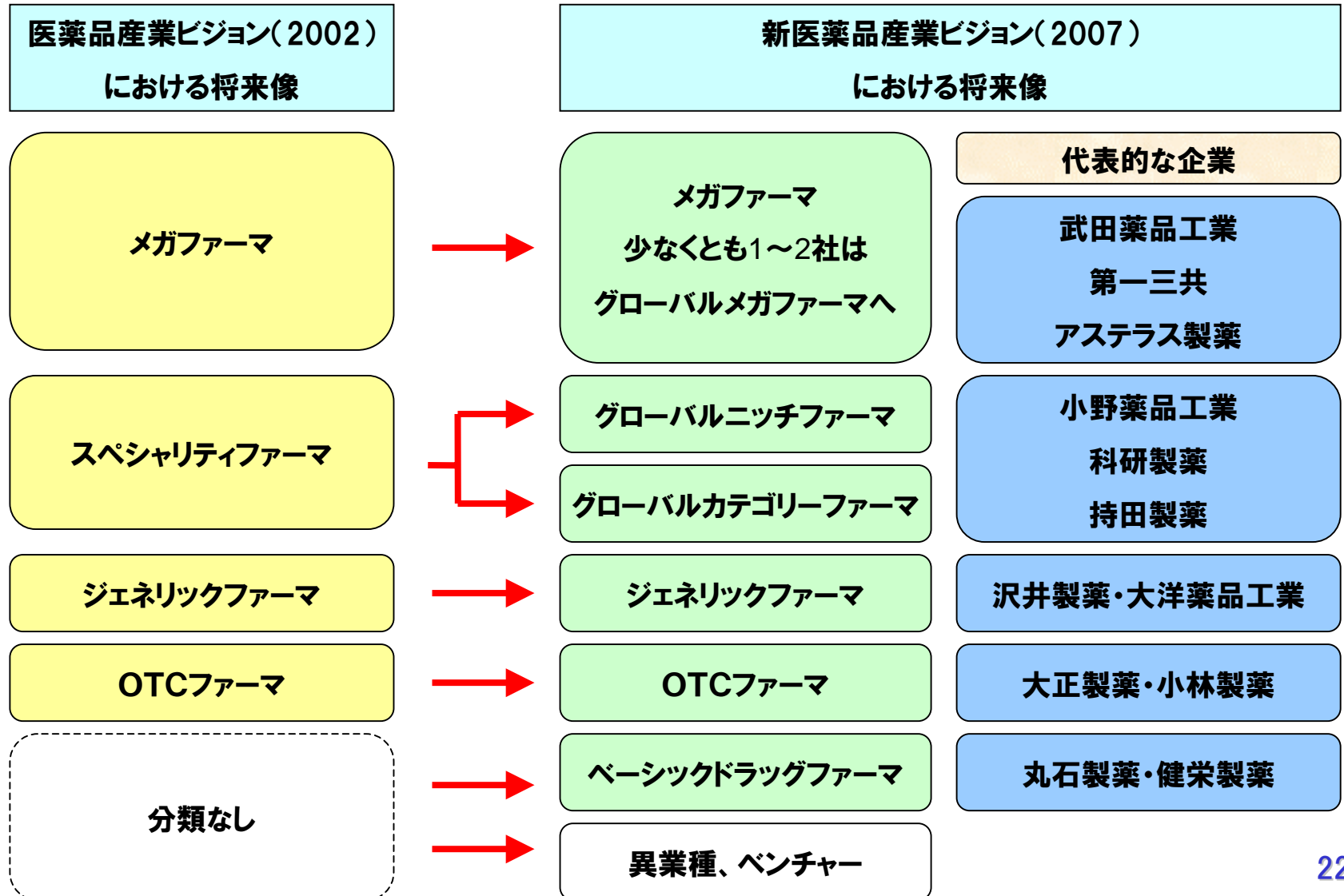


* Net Present Value: 正味現在価値

** 1USD=120JPYで計算

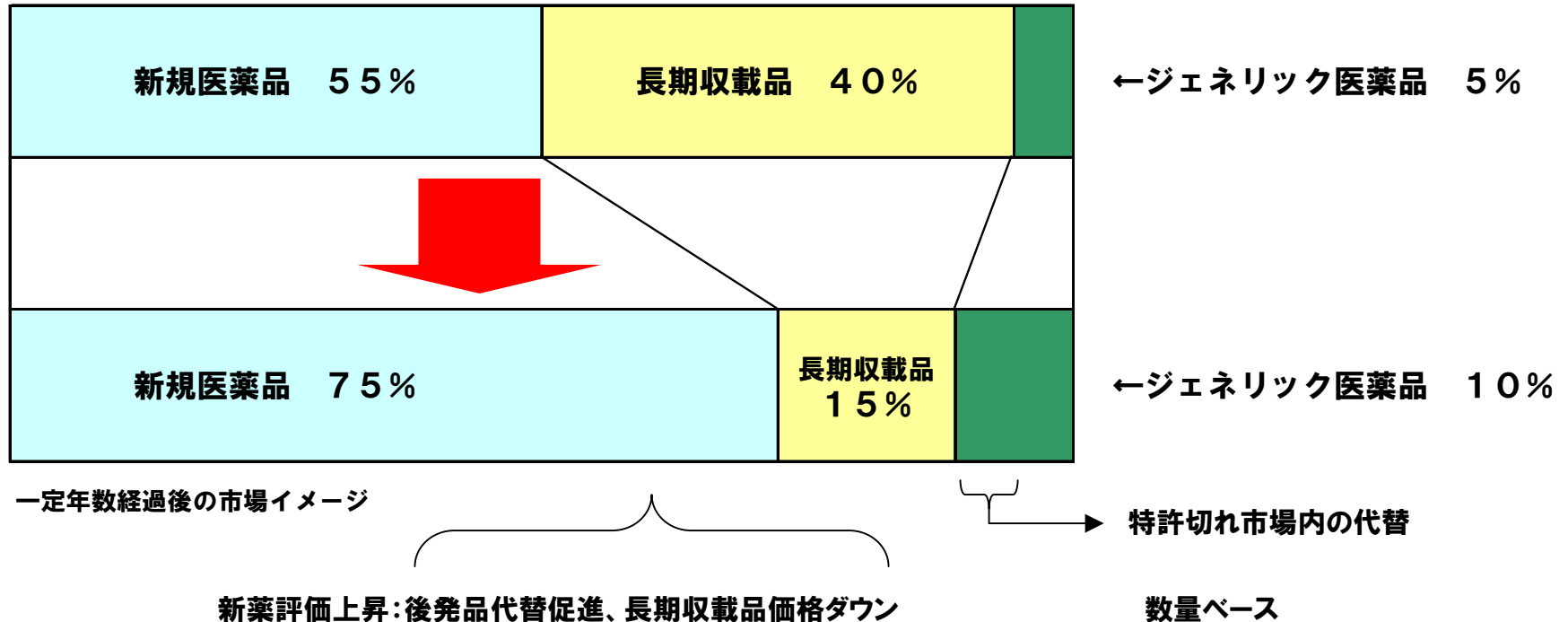
出典: Lehman Brothers Pharma Pipelines; 東大院薬PBI分析

■ 新医薬品産業ビジョン(2007)



■ 医薬品市場構造のイメージ

薬剤費規模(03年6. 9兆円, 推計)



42%	43%	15%
	↓	
42%	28%	30%

(出所: 厚生労働省)

■ 医薬品卸業の経営状況

(1)~(6):(%)

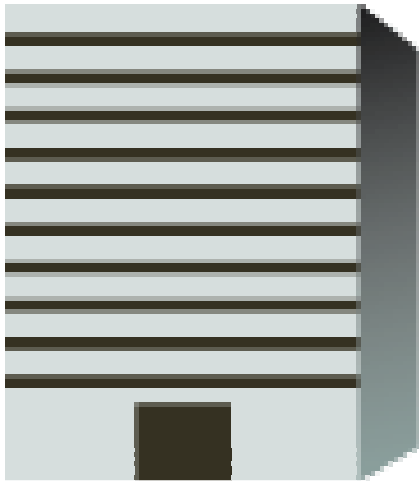
	3年度	4年度	6年度	8年度	10年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
(1) 売上高前年度伸び率	7.4	7.9	4.9	3.1	1.1	2.6	4.1	3.5	1.5	2.4	3.6
(2) 売上総利益率	12.7	12.3	11.4	11.0	10.5	9.0	8.7	8.6	8.3	8.0	7.9
(3) 販売費及び一般管理経費	11.2	10.3	10.2	9.7	9.3	8.6	8.2	7.7	7.4	7.5	0.1
(4) 営業利益率	1.5	2.0	1.2	1.3	1.2	0.4	0.5	0.9	0.9	0.5	0.8
(5) 経常利益率	1.4	2.0	1.6	1.6	1.5	0.8	0.9	1.3	1.3	0.9	1.2
(6) 損益分岐点	88.7	84.2	87.1	85.8	86.4	91.5	90.0	86.1	85.0	89.6	85.6
(7) 本社数(年度末現在)	351	331	305	277	232	180	175	154	147	142	134
(8) 卸従業員数	73,000	75,000	76,000	74,000	68,000	63,000	60,000	59,000	56,000	54,000	52,000

(出所:(社)日本医薬品卸業連合会)

■ **医薬品卸業**

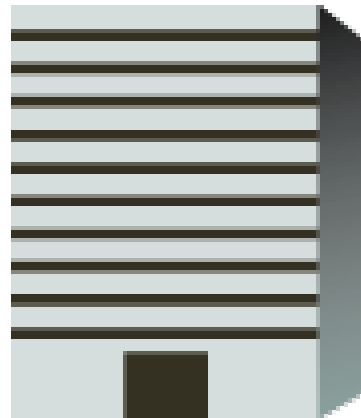
メディセオ・パルタックHD

(21,667)



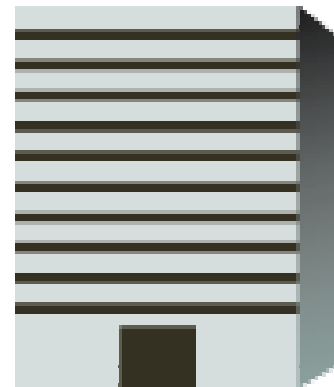
アルフレッサHD

(15,898)



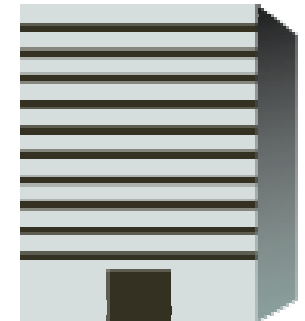
スズケン

(14,548)



東邦薬品

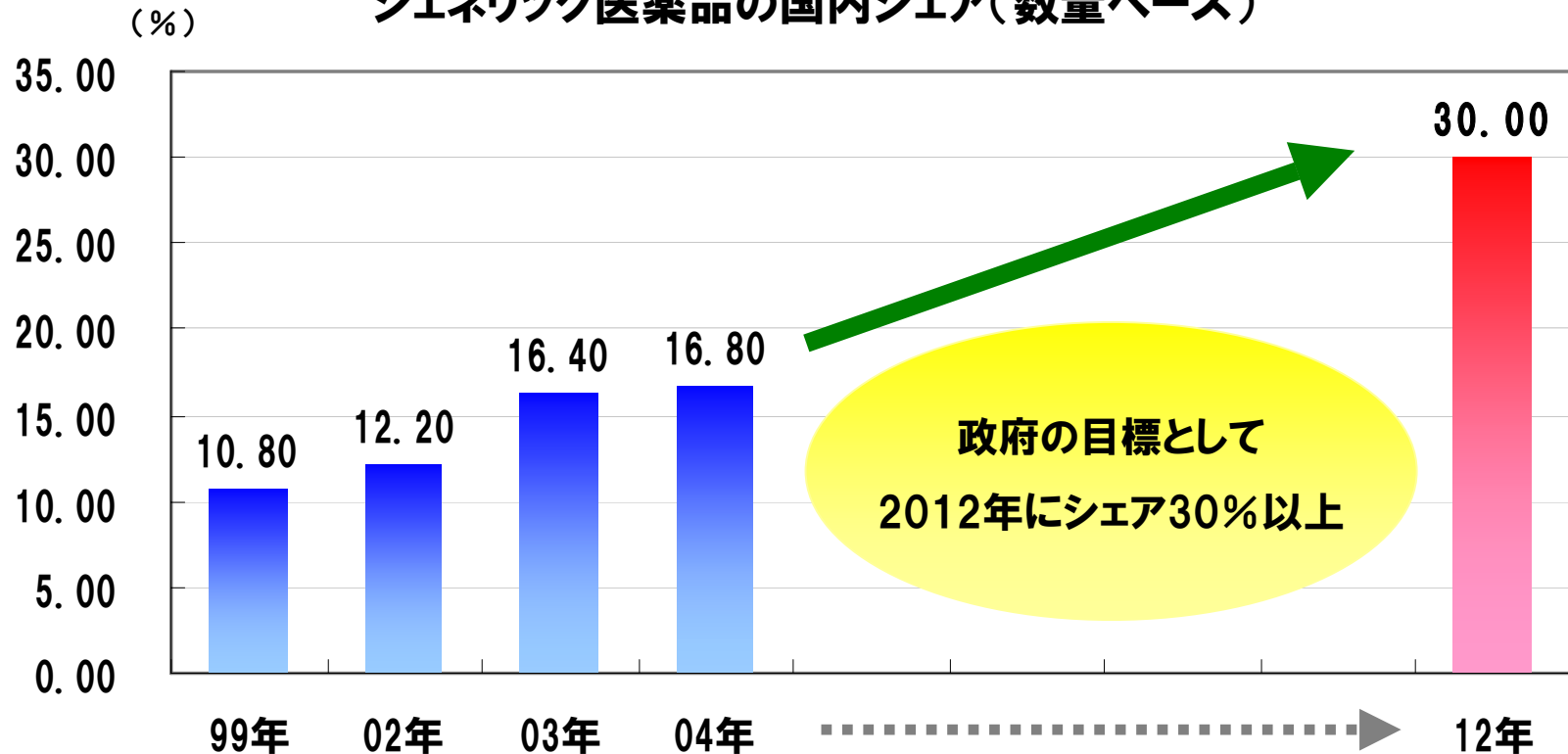
(7,734)



()数値は07年3月期 連結売上高 (単位:億円)

■ ジェネリック医薬品市場

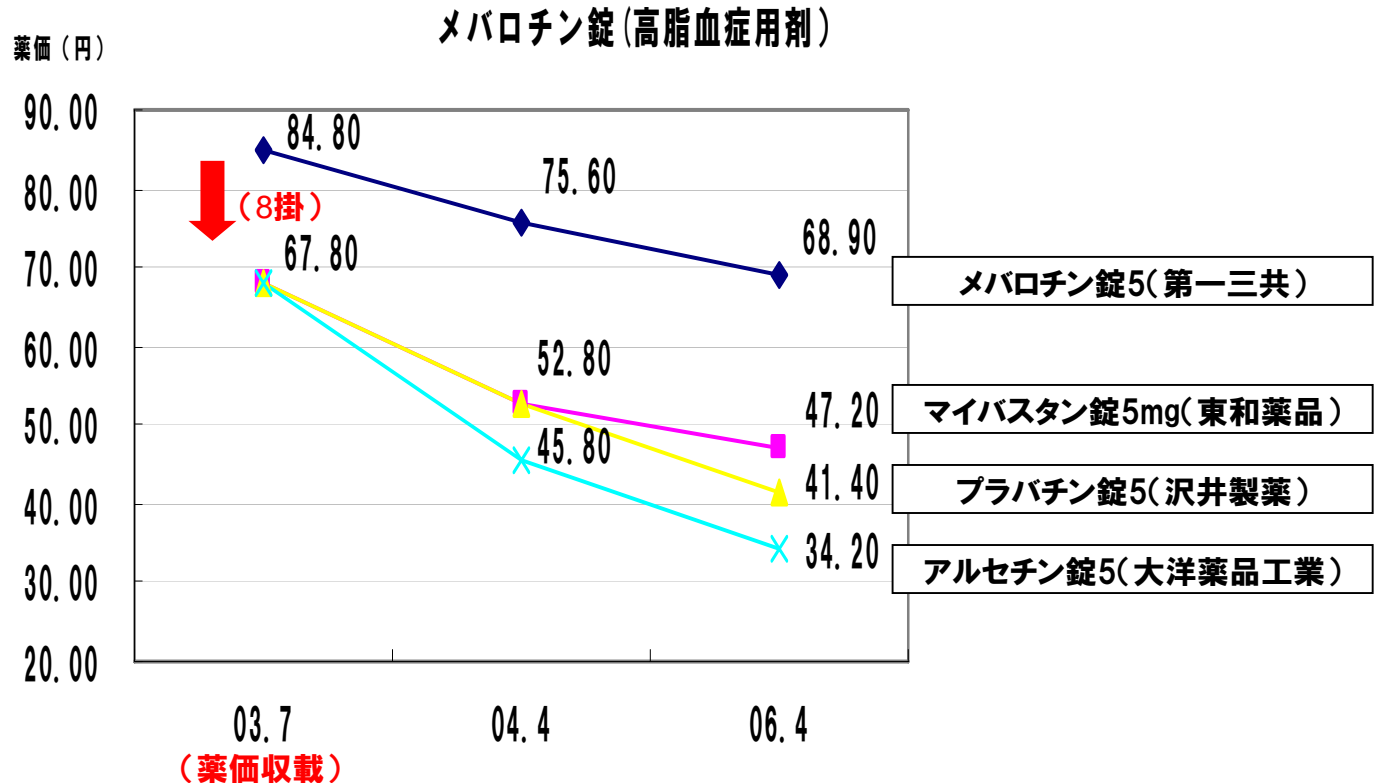
ジェネリック医薬品の国内シェア(数量ベース)



■ ジェネリック医薬品メーカー

	会社名	売上高	年度
1	沢井製薬株式会社	343億円	07年
2	大洋薬品工業株式会社	341億円	07年
3	日医工株式会社	292億円	06年
4	東和薬品株式会社	292億円	07年
5	ニプロジェネファ株式会社	235億円	06年
6	日本ケミファ株式会社	209億円	07年
7	ダイト株式会社	166億円	06年
8	シオノケミカル株式会社	139億円	06年
9	日清キョーリン製薬株式会社	130億円	06年
10	富士製薬工業株式会社	112億円	06年
11	高田製薬株式会社	112億円	07年
12	テイコクメディックス株式会社	102億円	06年
13	大正薬品工業株式会社	86億円	06年
14	日東メディック株式会社	82億円	06年
15	昭和薬品化工株式会社	77億円	06年
16	共和薬品工業株式会社	72億円	06年
17	岩城製薬株式会社	70億円	06年
18	寿製薬株式会社	70億円	06年
19	日新製薬株式会社	68億円	06年
20	テイカ製薬株式会社	66億円	06年

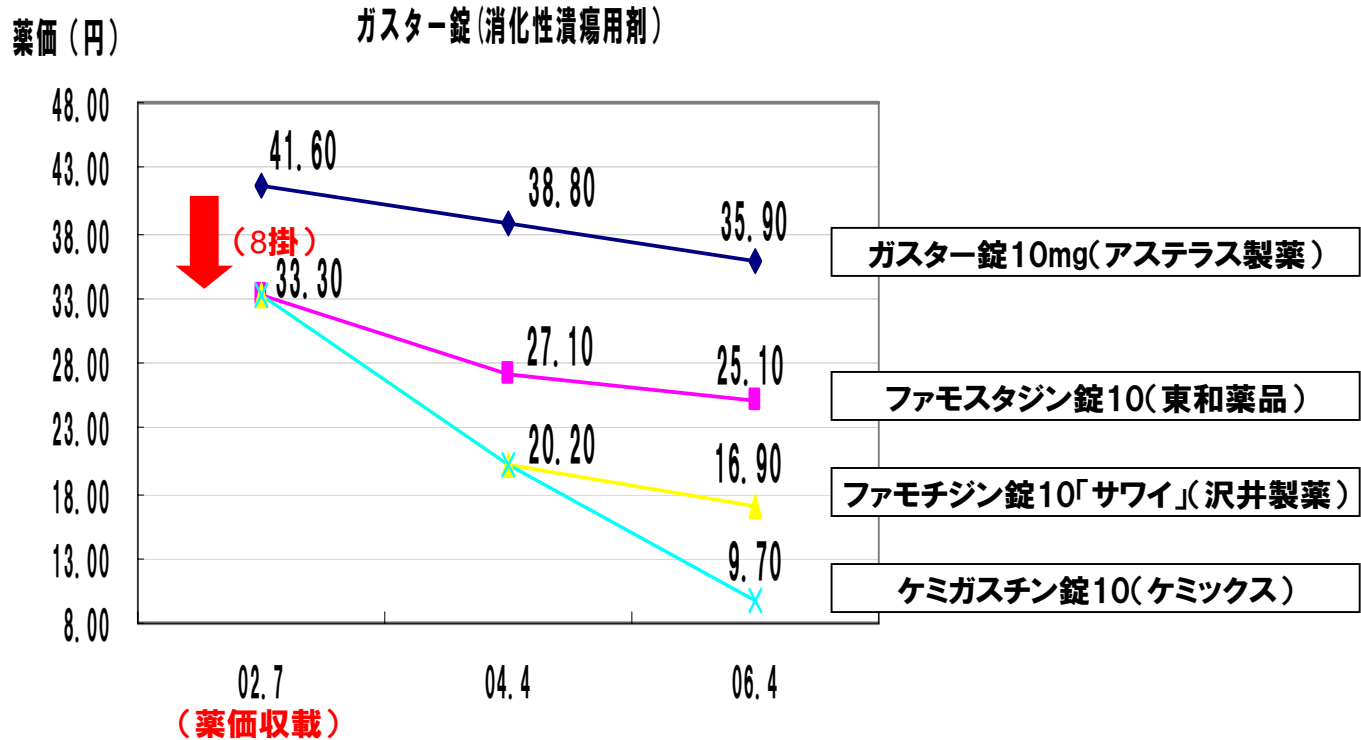
■ ジェネリック医薬品の薬価動向



薬価下げ率(前回薬価対比)

商品名(メーカー)	04.4	06.4
メバロチン錠5(第一三共)	-10.8%	-8.8%
マイバスタン錠5mg(東和薬品)	-22.1%	-10.6%
プラバチン錠5(沢井製薬)	-22.1%	-21.5%
アルセチン錠5(大洋薬品工業)	-32.4%	-25.3%

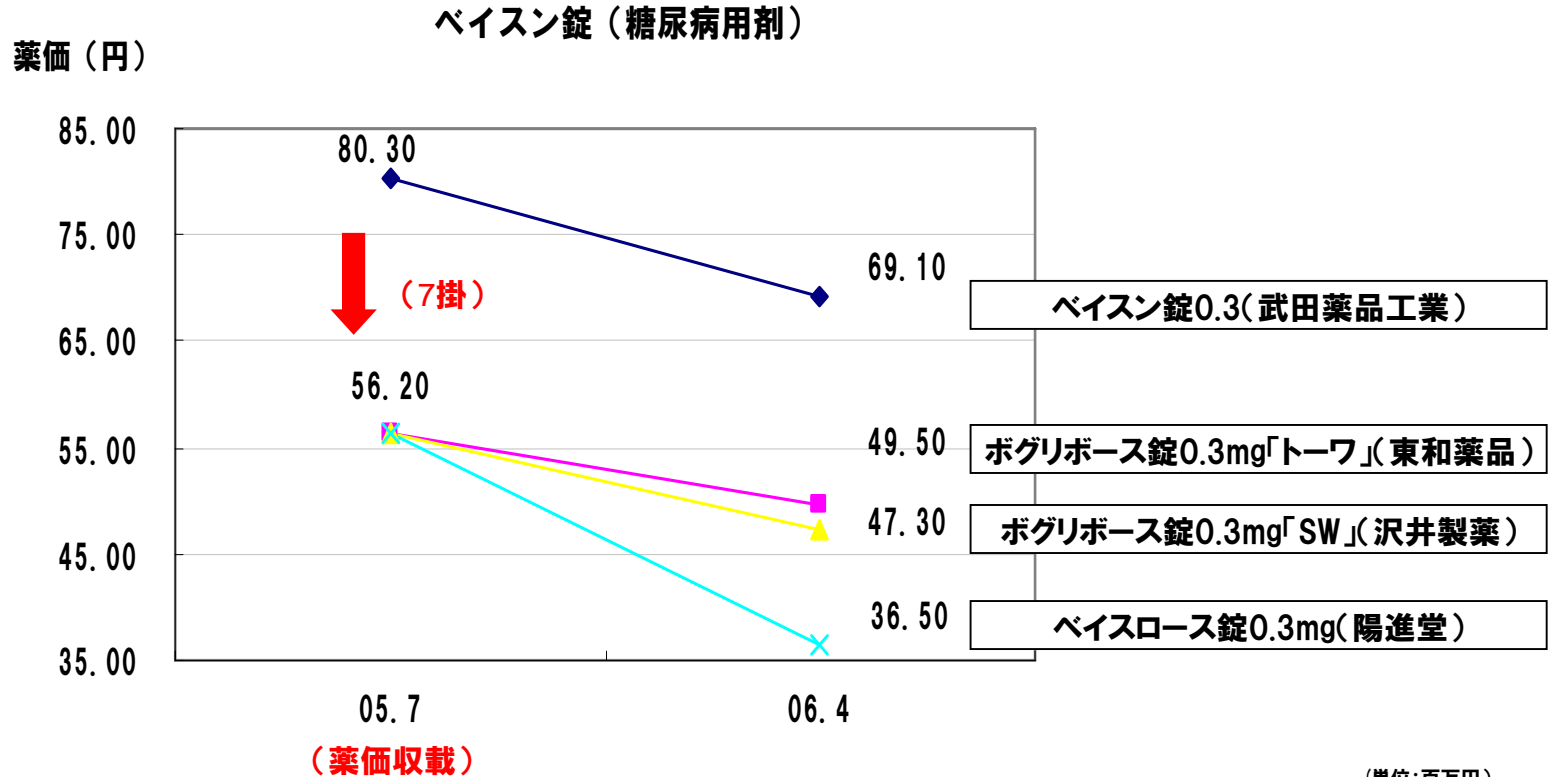
■ ジェネリック医薬品の薬価動向



薬価下げ率(前回薬価対比)

商品名 (メーカー)	04.4	06.4
ガスター錠10mg (アステラス製薬)	-6.7%	-7.4%
ファモスタジン錠10 (東和薬品)	-18.6%	-7.3%
ファモチジン錠10「サワイ」 (沢井製薬)	-39.3%	-16.3%
ケミガスチン錠10 (ケミックス)	-39.3%	-51.9%

■ ジェネリック医薬品の薬価動向



薬価下げ率(前回薬価対比)

商品名(メーカー)	06.4
ベイスン錠0.3(武田薬品工業)	-13.9%
ボグリボース錠0.3mg「トーワ」(東和薬品)	-11.9%
ボグリボース錠0.3mg「SW」(沢井製薬)	-15.8%
ベイスロース錠0.3mg(陽進堂)	-35.0%

(単位:百万円)

		05.3月期	06.3月期	07.3月期
沢井製薬	売上	23,277	26,616	14.3%
	経常利益	1,883	4,040	114.6%
	経常利益率	8.1%	15.2%	-
東和薬品	売上	24,763	24,193	-2.3%
	経常利益	3,012	3,506	16.4%
	経常利益率	12.2%	14.5%	-

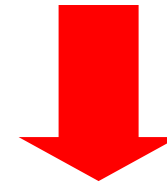
■ ジェネリック医薬品の調剤

処方せん												
(この処方せんは、どの保険薬局でも有効です。)												
公費負担者番号				保険者番号								
公費負担医療の受給者番号				被保険者証・被保険者手帳の記号・番号								
患者	氏名			保険医療機関の所在地及び名称								
	生年月日	年	月	日	男・女	電話番号						
	区分	被保険者	被扶養者	保険医氏名 印								
交付年月日		平成	年	月	日	処方せんの使用期間		平成	年	月	日	<small>特記事項のある場合は除き、交付の日を含めて4日以内に保険薬局に提出すること。</small>
処方												
	備考	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">後発医薬品への変更可</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">保険医署名</td> </tr> </table>										後発医薬品への変更可
後発医薬品への変更可												
保険医署名												
調剤済年月日		平成	年	月	日	公費負担者番号						
保険薬局の所在地及び名称		公費負担医療の受給者番号										
保険薬局調剤氏名		印										

様式第二号(第二十三条関係)

ジェネリック医薬品が処方された場合

医師が処方箋の「後発医薬品への変更可」という欄に署名した場合



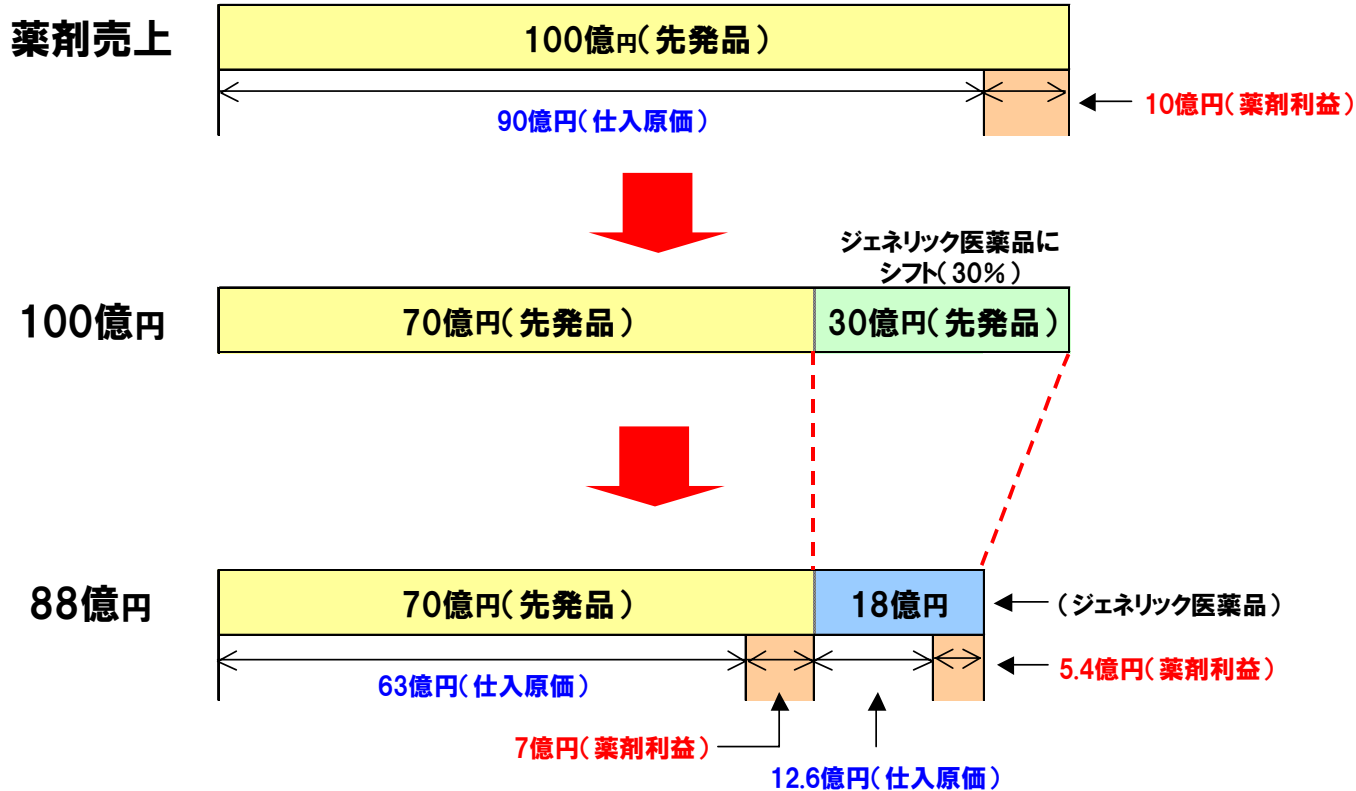
後発医薬品への変更可

保険医署名



備考 1. 「処方」欄には、薬名、分量、用法及び用量を記載すること。
 2. この用紙は、日本工業規格 A 列5号とすること。
 3. 療養の給付、老人医療及び公費負担医療に関する費用の請求に関する省令(昭和51年厚生省令第36号)第1条の公費負担医療については、「保険医療機関」とあるのは「公費負担医療の担当医療機関」と、「保険医氏名」とあるのは「公費負担医療の担当医氏名」と読み替えるものとする。

■ ジェネリック医薬品の利益創出



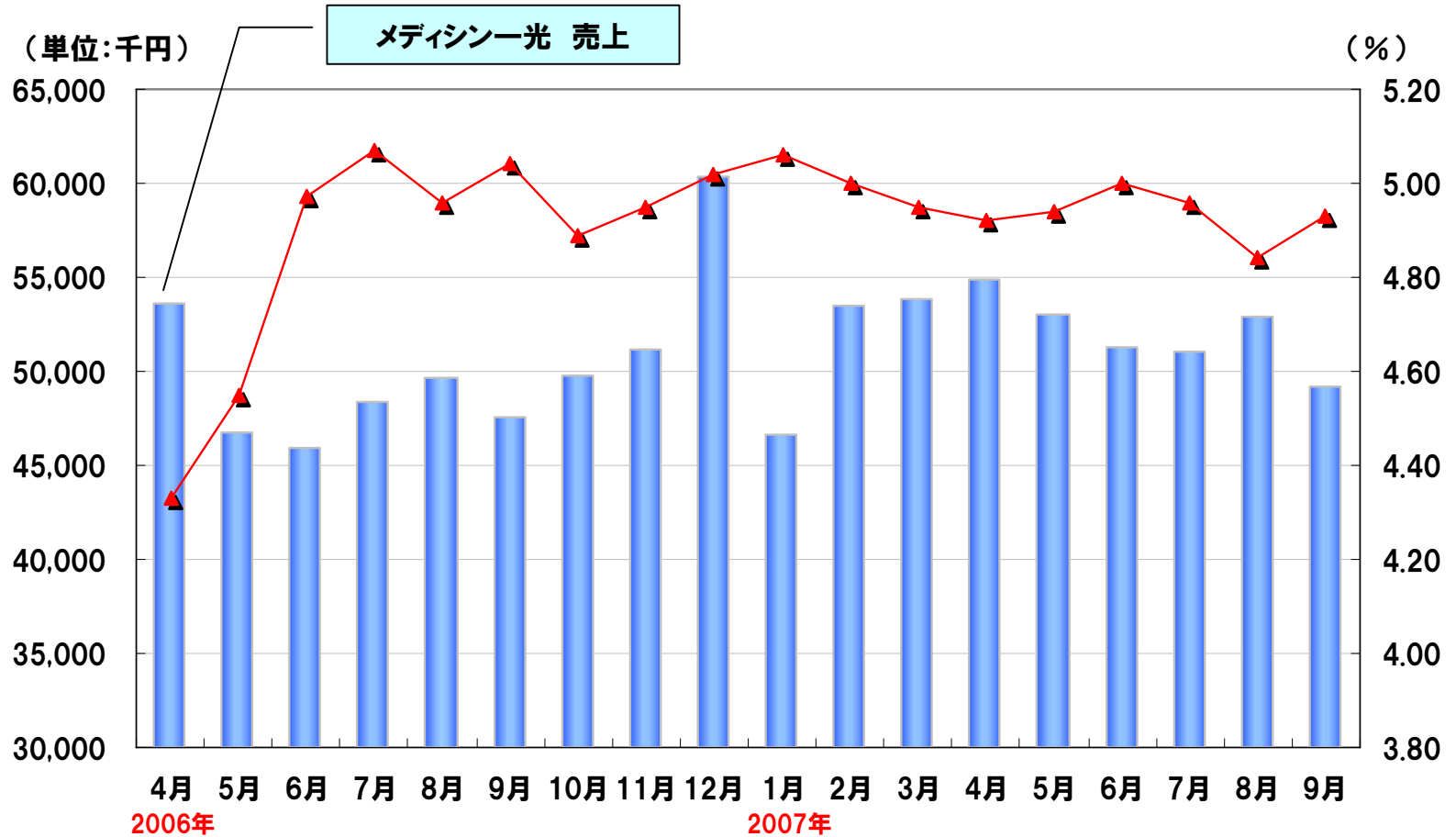
先発品の薬剤利益率 10%
ジェネリック医薬品の薬剤利益率 30%

① 全て先発品の場合
⇒薬剤利益 10億円

② 先発品の30%をジェネリック医薬品にシフトした場合
⇒薬剤利益 7億円(先発品)+5.4億円(ジェネリック医薬品)=12.4億円

12.4億円 - 10億円 = 2.4億円(利益創出額)

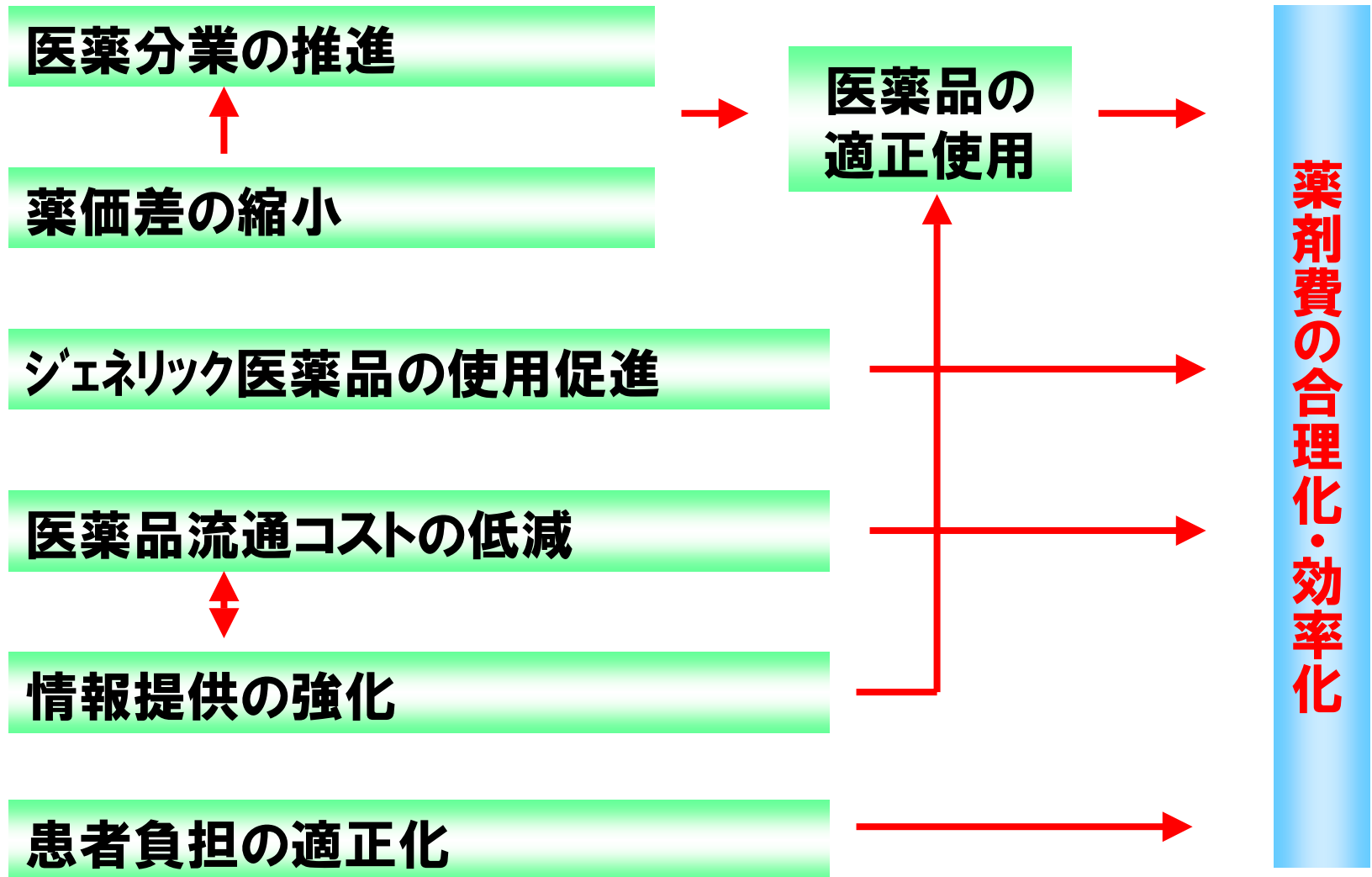
■ ジェネリック医薬品の当社状況



※売上:メディシン一光(ジェネリック医薬品卸)の売上実績

※薬剤料比率:メディカル一光の調剤薬局で、薬剤料全体におけるジェネリック医薬品の使用比率

■ 薬剤費の合理化・効率化



■ 2007年度 JASDAQ IR優良会社



【表彰理由】

- WebサイトではIRアンケートやIRメール配信サービスを誘導するバナーがトップページに配置され、投資者との双方向性コミュニケーションに取り組む前向きな姿勢が表れている。
- 事業報告書などのIRツールは単にPDFを添付するだけでなく、電子ブックの仕組みを取り入れるなど、見やすくする工夫をしている。
- IRスケジュールはかなり先の予定まで表示して親切である。
- IR資料は詳細な業界動向と会社の事業戦略との関係がよく説明されており、全体的に丁寧である。
- 今後は業績予想についての説明やリスク情報の開示において改善を期待したい。

I. 2008年2月期 中間決算概要

II. 中期経営計画

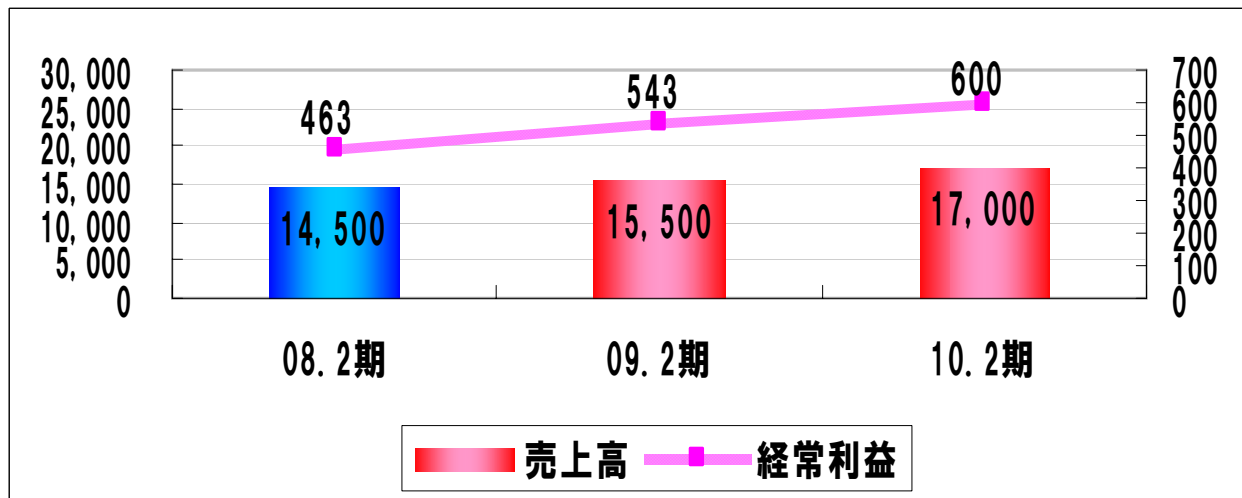
III. 2008年2月期 中間決算業績詳細

■ 中期経営計画

株式会社 **メディカル一光**

(単位:百万円)

	2008年2月期	2009年2月期	2010年2月期
売上高	14,500	15,500	17,000
経常利益	463	543	600
経常利益率	3.2%	3.5%	3.5%



I. 2008年2月期 中間決算概要

II. 中期経営計画

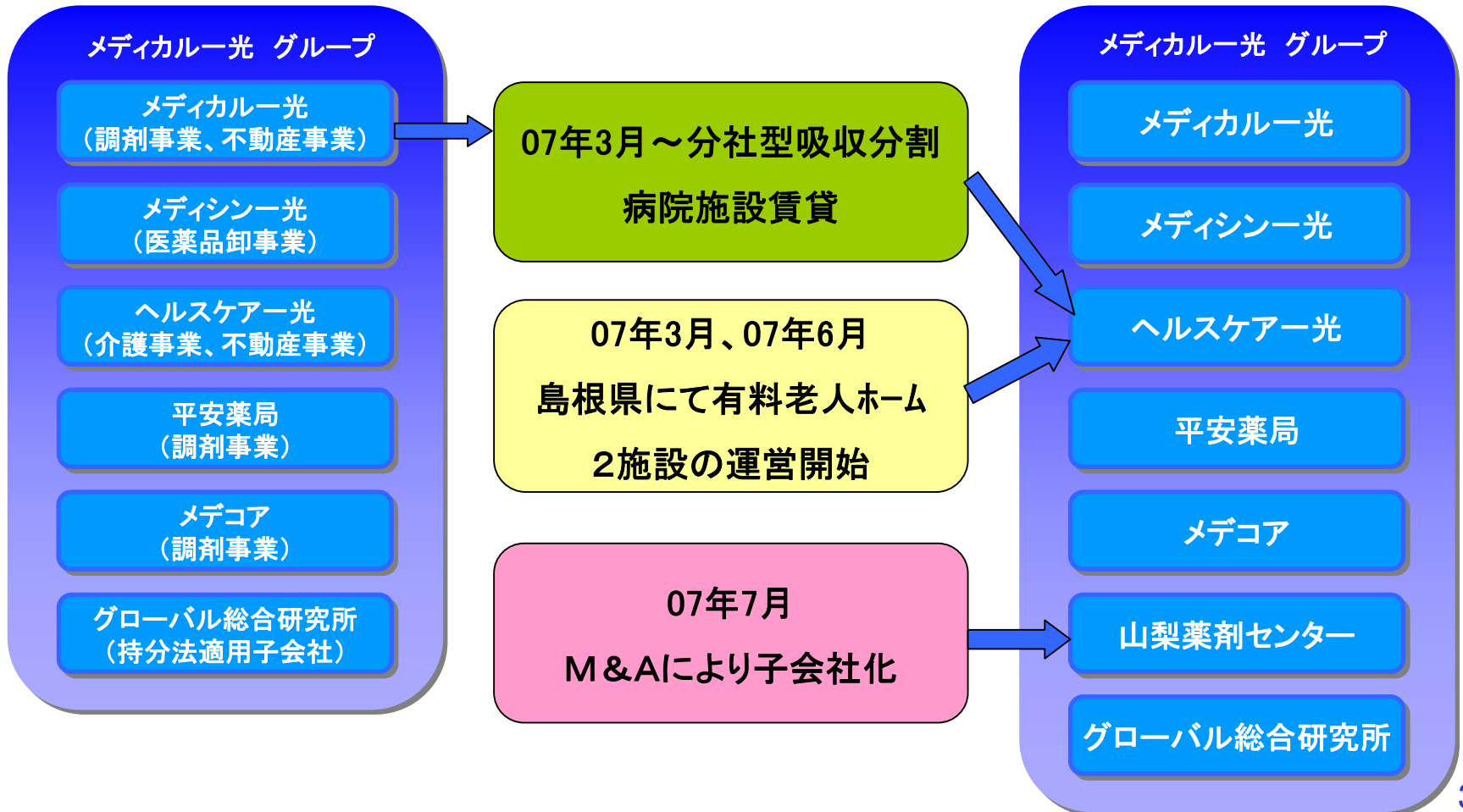
III. 2008年2月期 中間決算業績詳細

2008年2月期 中間 連結決算

07年2月期
連結決算



08年2月期中間
連結決算



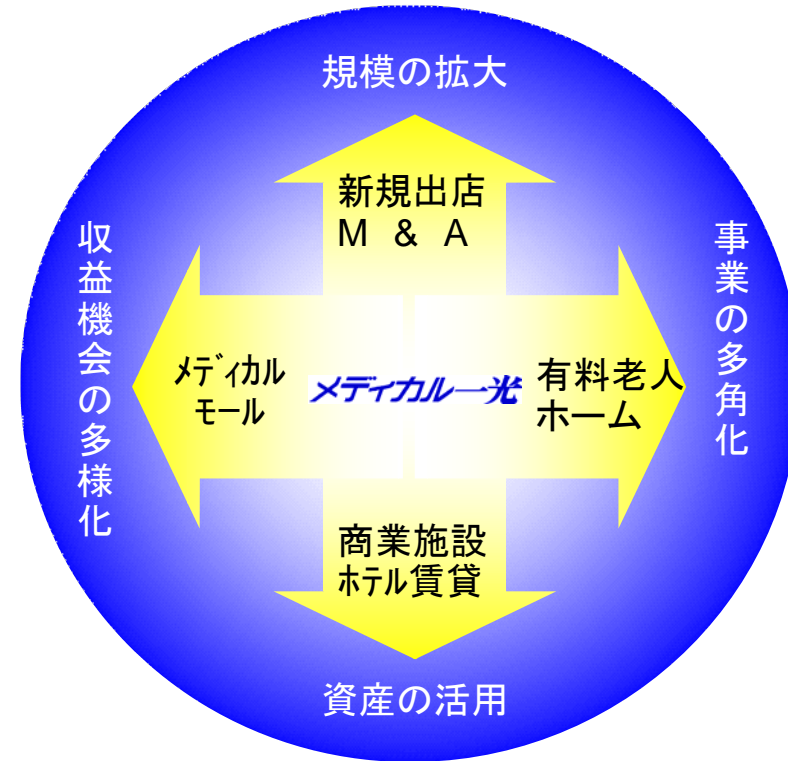
■ 投資案件、事業戦略

◆ 投資案件

(単位:枚、百万円)

投資内訳		21期投資 (H18.2期)	22期投資 (H19.2期)	23期投資 (H20.2期) 中間	備考
<全体投資額>		452	1,441	753	
調剤薬局事業	新店舗等	387	115	40	9店舗の開設と既存店舗の改装等
	M&A	0	707	592	平安薬局(株) (有)メデコア (株)山梨薬剤センター
不動産事業	土地活用	2	440	11	ビジネスホテル一括賃貸
新規事業	介護事業	63	56	93	有料老人ホーム2施設 グローバル総研 資本提携
	メディカルモール	0	123	17	久居メディカルモール 3つの医療機関誘致

◆ 事業戦略



■ 2008年2月期中間 連結貸借対照表

◆メディカル一光グループ（子会社5社・持分法関連会社1社）

	07年2月期		08年2月期中間		増減額
		構成比		構成比	
流動資産	3,215	38.4%	3,976	39.8%	761
現預金	1,119	13.4%	1,467	14.7%	348
売掛金	1,428	17.0%	1,762	17.6%	334
その他	668	8.0%	747	7.5%	79
固定資産	5,165	61.6%	6,012	60.2%	847
有形固定資産	3,746	44.7%	3,914	39.2%	168
無形固定資産	620	7.4%	1,177	11.8%	557
その他	799	9.5%	921	9.2%	122
資産合計	8,380	100.0%	9,988	100.0%	1,608
負債合計	6,287	75.0%	7,453	74.6%	1,166
流動負債	3,362	40.1%	4,158	41.6%	796
固定負債	2,924	34.9%	3,295	33.0%	371
純資産計	2,093	25.0%	2,535	25.4%	442
負債・資本合計	8,380	100.0%	9,988	100.0%	1,608

（単位：百万円）

・現預金	+348
・売掛金	+334
～調剤売上の増加	
・棚卸資産	+64

・山梨薬剤センター	+134
・のれん(山梨)増加	+562
・介護事業 差入保証金	+43
・投資有価証券	+84

・買掛金の増加	+82
・長短借入金	+975

・新株発行(第三者割当)	+360
・中間純利益 ほか	+82

2008年2月期中間 連結キャッシュ・フロー

◆M&Aにより調剤薬局事業が拡大

	07年2月期中間	08年2月期中間	増減額
営業活動による キャッシュフロー	259	△34	△293
投資活動による キャッシュフロー	△898	△951	△53
財務活動による キャッシュフロー	1,042	1,223	181
現金等の増加額	404	237	△167
現金等の期首残高	773	1,118	345
現金等の期末残高	1,189	1,356	167

(単位:百万円)

・税金等調整前中間純利益	+234
・減価償却・のれん償却	+104
・売上債権	-151
・仕入債務	-147
・法人税の支払	-105

・有形固定資産の取得	-102
・投資有価証券の取得	-75
・子会社株式の取得	-299
・子会社への貸付	-401
・差入保証金の預け入れ	-49

・長期借入金の増加	+975
・第三者割当増資	+357
・配当金	-109

・現金等の増加額	+237
----------	------

調剤薬局事業<既存店・新規店舗>売上高

◆既存店売上高 7.7%増、新規については、M&Aの効果

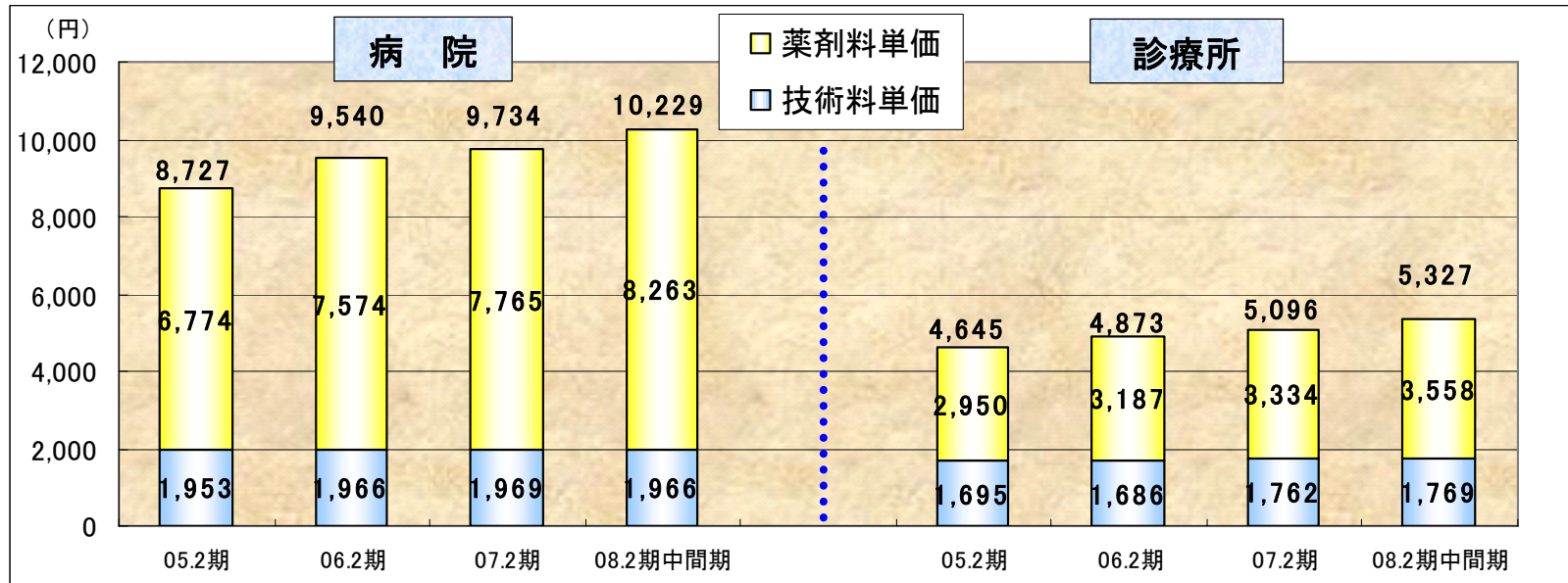
(単位:枚、百万円)

	07年2月期中間		08年2月期中間		前 期 比		計 画 比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額 (枚数)	増減率	増減額 (枚数)	増減率
処方箋枚数	722,426		776,838		54,412	7.5%	△692	△0.1%
売上高合計	5,600	100.0%	6,539	100.0%	939	16.8%	326	5.2%
既存店	5,169	92.3%	5,567	85.1%	398	7.7%	172	3.2%
07/2期出店	409	7.9%	805	12.3%	396	96.8%	70	9.5%
（うちM&A）	334	6.0%	520	8.0%	186	55.7%	39	8.1%
08/2期出店	—	—	167	2.6%	167	—	84	101.2%
（うちM&A）	—	—	115	1.8%	115	—	115	—
閉局店	22	0.4%	0	—	△22	—	0	—

【前年中間期 比較】

- 1.既存店売上高 ⇒398百万円増加（処方箋単価の上昇、応需枚数が増加）
- 2.07/2月期出店 ⇒396百万円の増加（新規店売上の増加、M&Aの効果）
- 3.08/2月期出店 ⇒167百万円の増加（M&Aの実績は、H19.8月以降分）

■ 調剤薬局事業(連結) 処方箋単価



店舗数	32	35	38	40
売上高 (百万円)	6,166	7,303	8,565	4,921

店舗数	26	26	29	28
売上高 (百万円)	2,581	2,664	3,033	1,575

1. 中間期処方箋単価

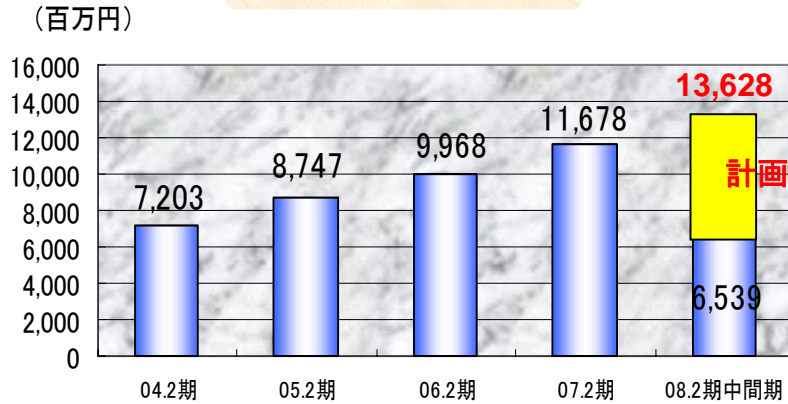
～前年年間比較では、1枚あたり+500円(薬剤料+495円、技術料+5円)

2. 病院・診療所区分

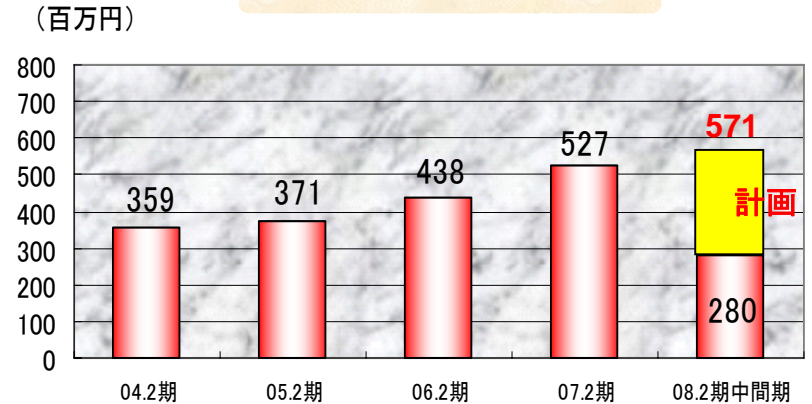
～1枚あたり単価比較では、病院+495円、診療所+231円

2008年2月期 通期事業部門別売上高

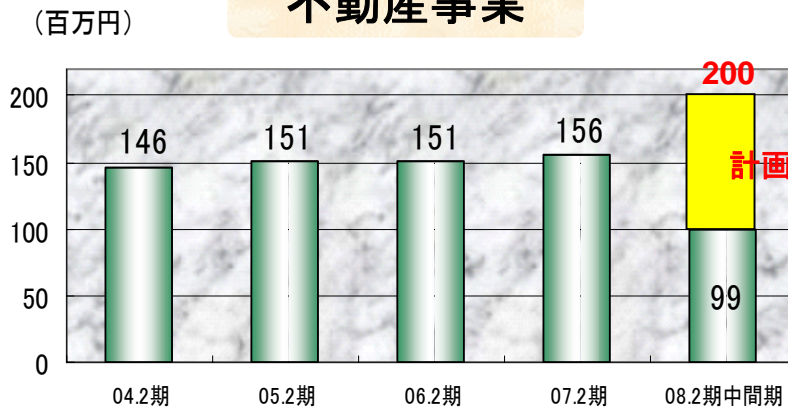
調剤薬局事業



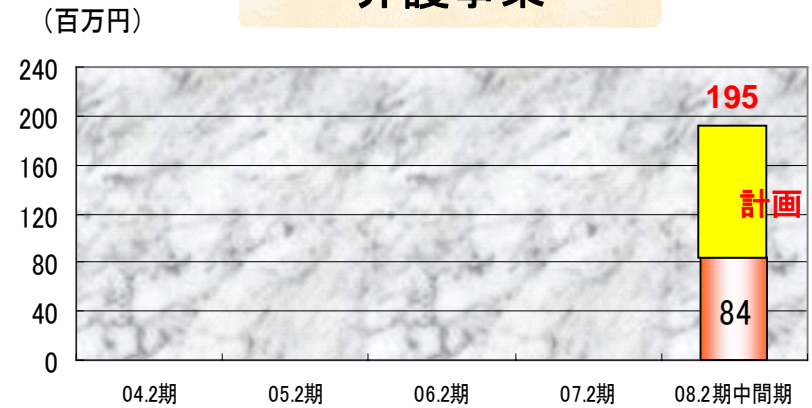
医薬品卸事業



不動産事業



介護事業



■ 2008年2月期 通期業績見通し

(単位:枚、百万円)

	07年2月期		08年2月期予想		前 期 比	
	実績	構成比	見通し	構成比	増減額(枚数)	増減率
処方箋枚数	1,475,211		1,585,625		110,414	7.5%
売上高	12,362	100.0%	14,500	100.0%	2,138	17.3%
売上総利益	1,130	9.1%	1,360	9.4%	230	20.4%
販管費	702	5.7%	808	5.6%	106	15.1%
営業利益	428	3.5%	552	3.8%	124	29.0%
経常利益	395	3.2%	463	3.2%	68	17.2%
当期純利益	46	0.4%	216	1.5%	170	369.6%

【前年比較 予想】

- 1.売上高 14,500百万円 ⇒調剤薬局事業が増加し、前年対比 2,138百万円増
- 2.経常利益 463百万円 ⇒増益予想額 68百万円(のれん、投資利益を吸収)
- 3.当期純利益 216百万円 ⇒増益予想額 170百万円

■ お問い合わせ先

株式会社メディカル一光 IR担当

電話：059-226-1193(代表)

FAX：059-227-6107

E-mail：ir@m-ikkou.co.jp

URL：<http://www.m-ikkou.co.jp>